

2 研究の実際 > (2) 活動プログラムの実際 > エ 活動プログラムの実践  
 <中学校(学年)> 活動プログラム②トラブル未然防止のスキル



**ペアやグループを意図的に構成して、実践しました！**

1 活動プログラムの展開案において、グループでの活動がある場面を確認しました。

【活動プログラム3時目の展開案より】

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>【トラブルになりそうな場面②】<br/>                 掃除が終わると、Bさんはいつもバケツの後片付けをせずに、先に教室に帰ってしまいます。そのため、同じ掃除グループのAさんは、いつもバケツの後片付けをすることになり困っています。<br/>                 Aさんは、Bさんに今日こそはバケツの後片付けをしてほしいと頼みに行きます。Bさんとトラブルにならないようにするためには、Aさんはどのような話し方をすればよいでしょうか。</p> | <p>【スライド16】<br/>                 ○4人グループになり、自分の書いたシナリオを発表して、話し方の練習をします。</p> | <p>学習活動4<br/>                 話し方のポイントを使って練習をする</p> |
| <p>【スライド17】<br/>                 ○Aさん役とBさん役、観望役(2人)に分かれて練習をします。</p>   |   |   |

資料1 活動プログラム3時目におけるグループ活動の場面

2 活動プログラム①の実践後に「グループ活動アンケート」(1回目)を実施しました。

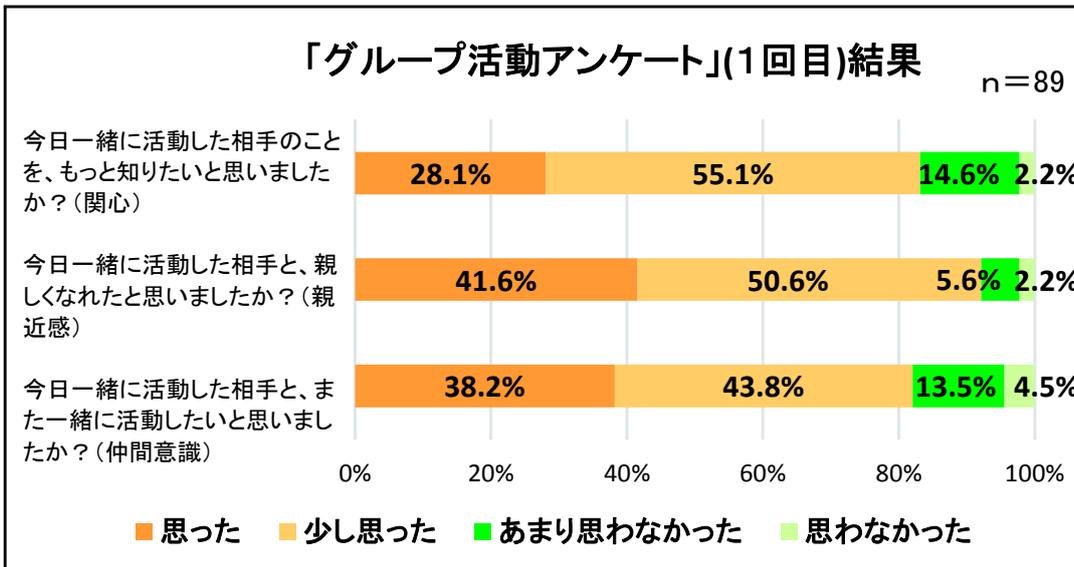


図1 「グループ活動アンケート」(1回目)の結果

3 学習のねらいと「グループ活動アンケート」(1回目)の結果から、以下のようなグルーピングのための視点を挙げました。

○アサーションスキルやソーシャルスキル・トレーニングの学習を通した、自他尊重の自己表現のスキルを学ぶため

- ・練習したスキルを実際の場面で使うことができるようにするため、日頃の生活班を生かして生徒を組む。
- ・できるだけ、活動プログラム①のグループと異なる生徒同士を組む。

○グループでの活動が停滞しないようにするため

- ・友達との関わりが苦手な生徒と、相手のことを考えて発言するなどの気遣いができる生徒を組む。
- ・授業で扱うトラブルと同じトラブルの場面を経験したり、トラブルが継続したりしている生徒同士は組まない。
- ・話し合い活動を進めることができる生徒を、各グループに配置する。



4 「PIGシート①」を活用して、「グループ活動アンケート」(1回目)の結果と担任の観察を基にして総合的にアセスメントし、グルーピングを行いました。

※資料2は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。

| [取扱注意]           |       |             |             |                             |                    |                   |                             |                    |        |        |          |  |
|------------------|-------|-------------|-------------|-----------------------------|--------------------|-------------------|-----------------------------|--------------------|--------|--------|----------|--|
| PIGシート①<br>(中学校) |       | 振返<br>①     | 振返<br>②     | グループ活動<br>アンケート<br>[実施日〇/〇] |                    |                   | 理由などの<br>特記事項               | 担任等の観察<br>[実施日〇/〇] |        |        | グループの編成  |  |
| No.              | 氏名    | 学習に進んで参加できた | 学習に進んで参加できた | 活動した相手をもっと知りたいと思う           | 活動した相手との距離が縮まったと思う | 活動した相手とまた一緒に活動したい |                             | 押しつけさん             | もじもじさん | さわやかさん | 怒りについて知る | ※グループ<br>へ例)要支援群<br>事前説明が必要、<br>◇◇部に在籍<br>など |
| 1                | 〇〇 〇〇 | 4           | 4           | 2                           | 3                  | 3                 |                             |                    | 〇      | F      |          | C  |
| 2                | 〇〇 〇〇 | 3           | 4           | 2                           | 3                  | 3                 |                             | ✓                  |        | C      |          | A  |
| 3                | 〇〇 〇〇 | 4           | 4           | 3                           | 4                  | 3                 |                             | ✓                  |        | G      | 事前説明     | G  |
| 4                | 〇〇 〇〇 | 4           | 4           | 2                           | 3                  | 3                 |                             |                    |        | E      |          | E  |
| 5                | 〇〇 〇〇 | 4           | 4           | 4                           | 4                  | 4                 |                             |                    |        | E      |          | C  |
| 6                | 〇〇 〇〇 | 3           | 4           | 3                           | 4                  | 3                 |                             |                    | 〇      | G      |          | B  |
| 7                | 〇〇 〇〇 | 4           | 4           | 3                           | 3                  | 3                 |                             |                    | ◎      | F      |          | A  |
| 8                | 〇〇 〇〇 | 4           | 4           | 1                           | 1                  | 3                 | 他人のことほしらくていい<br>いっつもしゃべっている | ✓                  |        | A      | 事前説明     | A  |
| 9                | 〇〇 〇〇 | 4           | 4           | 2                           | 1                  | 2                 | 相手をしらくなくていい                 |                    | ✓      | B      | 要支援群     | B  |
| 10               | 〇〇 〇〇 | 4           | 4           | 4                           | 4                  | 4                 |                             |                    |        | H      |          | D  |

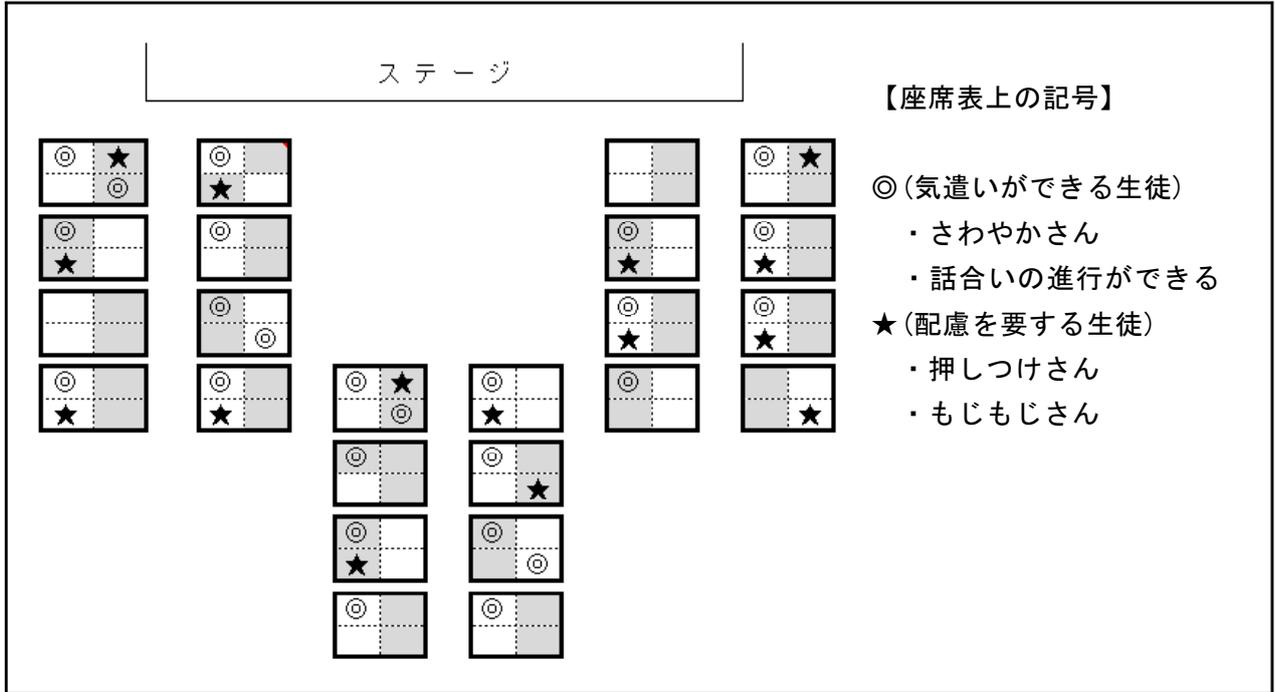
資料2 「PIGシート①」を活用したグルーピングの実際



5 実際の座席は、以下の点に気を付けて配置しました。今回、配慮した生徒は15名です。

※資料3は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。

- ・話し合い活動を進めることができる生徒を、可能な限り各グループに配置する。
- ・日頃の観察で、相手に対して言葉遣いの乱暴な生徒同士を組まない。
- ・配慮を要する生徒を含むグループは、各学級の外側に配置する。



資料3 座席配置の実際



6 実際の授業は、以下の通りです。

| 過程    | ● 配慮の実際  | ・ 生徒の反応や教師の気付き |
|-------|--|----------------|
| 【授業前】 | <p>● 「集合隊形」と「活動隊形」での各学級の区画やグループ配置が分かるようにするため、事前に体育館の床面にテープで目印（ピンク）を付けた。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>【活動隊形時の目印】</p> |                |

- グループ活動に集中できるようにするため、グループの間隔を空けた。
  - 一方的に自分の考えを押し付けたり、自分の意見がうまく言えなかったりするなどの配慮した生徒と、相手のことを考えて発言できるリーダーの生徒を組んだ。
  - 授業当日の朝、担任が学習内容と学習形態、座席配置の隊形移動について、生徒に伝えた。
- ・グループの間隔を空けたことで、グループを越えた私語が減って、グループ内での話合いに活気が感じられた。
  - ・リーダーの生徒が話合い活動やシェアリングの場面でうまく声掛けを行ったため、活発な話合いができた。
  - ・座席の配置や隊形については、前日の帰りの会のときに説明した。事前に説明を行っていたため、「集合隊形」と「活動隊形」の移動をスムーズに行うことができた。

【授業中】

- 配慮した生徒のいるグループを中心に、学年職員で担当する範囲を決めて声を掛けるなどの支援をした。



【グループ活動(活動隊形)の様子】



【配慮した生徒への声掛けの様子】

- ・副担任等がグループを回って声掛けなどの支援をしたため、配慮した生徒だけでなく多くの生徒が積極的に活動することができた。
- ・「話す役」と「聴く役」とに分かれてロールプレイングの練習をすることで、相手の気持ちになって、柔らかい口調で話し掛けることができていた。
- ・ロールプレイングの場面で拍手をしたり、シェアリングの場面で褒め合ったりするなど、積極的に活動に取り組むことができていた。

トラブルにならない話し方を学んだので、これからは注意しながら生活をしていきたいと思った。



【配慮した生徒の感想】

|       |                              |   |
|-------|------------------------------|---|
| 【授業後】 | ●配慮した生徒の様子を観察し、必要に応じて声掛けをした。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業後、生徒同士が活動について教室で話題にする場面が見られた。</li> <li>・生徒の授業中の様子や感想を学級通信等で伝えることで、学習した内容が深まったことを感じた。</li> </ul> |
|-------|------------------------------|---|

**実践してみたら、このような生徒の姿が見られました！**

◆授業後の生徒の反応(「グループ活動アンケート」・「振り返りシート」より)  
 ※配慮した児童は15名で、グラフ上に人数を( )で示しています。

○グループ活動における生徒の友達に対する意識の変化について

・「グループ活動アンケート」の質問項目に対する生徒の回答の結果

※配慮した児童は15名で、グラフ上に人数を( )で示しています。

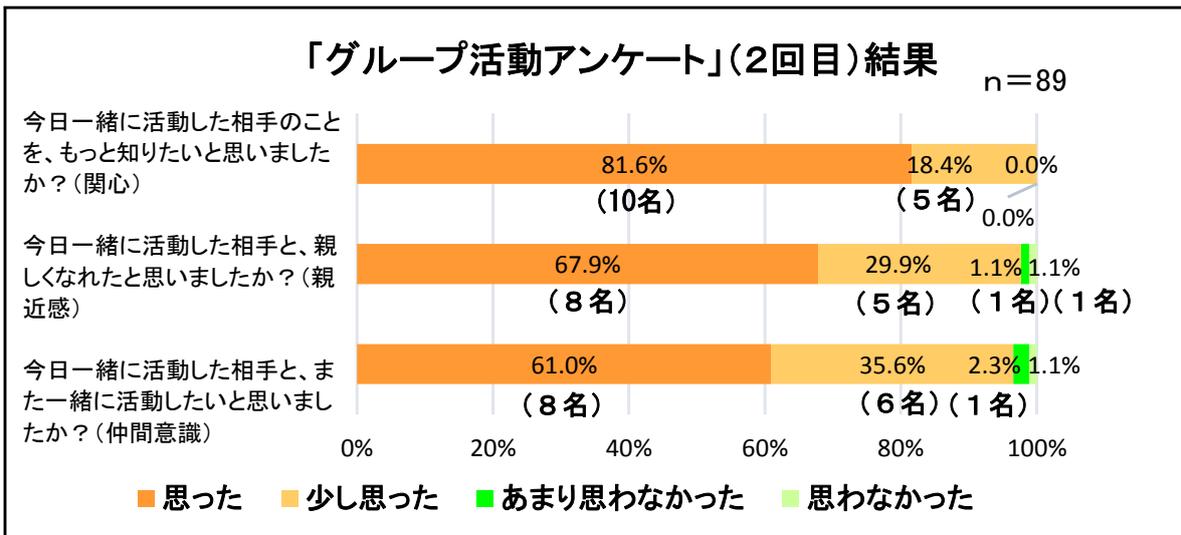


図2 「グループ活動アンケート」(2回目)結果

・配慮した生徒の感想



グループで話をするとき笑顔も出て、一人で活動するときよりも格段にしやすかったです。互いに演技を見ることができて楽しかったです。

○グループ活動で取り扱った「トラブル未然防止のスキル」の学習について

・「振り返りシート」の質問項目に対する生徒の回答の結果

※配慮した児童は15名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

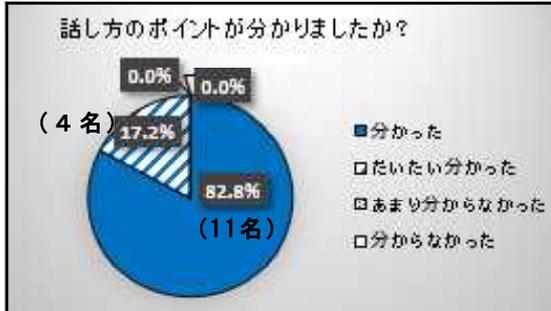


図3 話し方のポイントの理解について(3時目)



図4 話し方の練習について(3時目)

・生徒の感想



用件だけが伝わればいいと思っていたけど、自分の気持ちを伝えたり優しく言ったりするなど、きちんとした話し方をしなければいけないなあと感じました。

今までは相手の気持ちを考えて頼むなんてことはなかったけど、これからは相手のことを考えて話をしようと思いました。



○グループ活動を取り入れた学習への参加状況と学習内容に対する活用意欲について

・「振り返りシート」の質問項目に対する生徒の回答の結果

※配慮した児童は15名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。



図5 学習への参加状況について(3時目)



図6 学習内容に対する活用意欲について(3時目)

・生徒の感想



同じことでも、言い方一つで相手の捉え方が全然違っていたのでびっくりしました。トラブルにならない話し方や聴き方をするのは大事なことだと思いました。

自分の言い分だけを伝えると、相手が嫌な気持ちになるので、相手の気持ちを聴くことも大事だと思いました。これからは意識して生活していきたいと思います。



◆授業後の教師の感想



話をするとき、自分の意見だけではなく相手の言い分も聴かなければいけないと分かっているけど、なかなかできていなかった生徒たちです。しかし、この活動プログラムのシナリオを使ったロールプレイングを経験したことで、改めてそれを実感したと思います。ロールプレイングの場面で役割を演じながら気持ちが入っていたように感じます。そして、ほとんどの生徒たちが、相手のことを考えた話し方と聴き方を、積極的に学ぶことができたと思います。

配慮した生徒の「グループ活動アンケート」には、「トラブルにならないように話し方を工夫したい」「友達に対しての話し方を考えなければいけないと思った」という記述が見られました。トラブルにならない話し方のロールプレイングもスムーズにできました。